

新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止についてのお願い

9月にとくしまアラートが解除されてから2ヵ月以上が経過しました。しかし、全国的には、クラスターが各地で発生するなど、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありません。

また、これから冬に向けて、季節性インフルエンザの流行にも気を付けなければなりません。皆様には、マスク着用や手指消毒、3密を避けるなどの基本的な感染症対策の徹底を引き続きお願いするとともに、以下のような感染リスクが高まる「5つの場面」には特に注意し、感染を広げないような対策をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。

場面④ 狹い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

出典:厚生労働省

風邪の症状があるなど、体調が悪いときは迷わず休みましょう。休むことは感染拡大防止につながり、またご自身の体のためにあります。そのためには、従業員の方々が休みやすい環境整備が大切です。事業者の皆様にもご協力をお願いします。

国・接触確認アプリ
「COCOA」や、徳島県
「とくしまコロナお知らせシステム」も活用しましょう。

検査などのサポートを早く受けることができます。



接触確認アプリ「COCOA」の
詳細は[こちら](#)
(厚生労働省ウェブサイト)

●コロナに関する一般電話相談連絡先

徳島県感染症・疾病対策室(24時間受付)

☎0120・109・410(フリーダイヤル)

●受診・相談センター

徳島保健所

☎088・602・8950

※夜間休日の電話はセコム株式会社につながります。

- ・新型コロナウイルス感染症に感染した疑いがある場合は、まず身近な「かかりつけ医」に電話相談し、受診や検査の指示を受けるようにしてください。
- ・「かかりつけ医」がなく、相談できる医療機関もない場合には、受診・相談センターに電話連絡してください。